

MIU

三重大学生コミュニティー誌【ミウ】

16

2018.04

学部長にインタビュー

サークル紹介

三重大周辺フォトスポット

三重大学マップ

MIE University MAP

ようこそ、三重大学へ！
 今から、教育学部、生物資源学部、医学部、工学部、人文学部、
 教養教育機構、地域イノベーション研究科の7カ所の学部長、
 機構長、研究科長の先生方にインタビューに行こうと思います。
 各学部のインタビューは写真下記のページへGO！
 どんな話が聞けるのでしょうか？

教育学部



P03

地域イノベーション学研究科



P09

大学病院 (医学部)



看護学科



P05

生物資源学部



P04

教養教育機構



P08

第一体育館



人文学部



P07

工学部



P06

次のページからは…
 学部長に
インタビューが
 始まるよ～!!



教育学部

教育学部長・教育学研究科長 鶴原 清志 先生

他学部生が知らないであろう学部の自慢できるところを教えてください。

教育学部のコースには、国語教育、社会科教育、数学教育・情報教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、幼児教育、学校教育があります。非常に幅広い分野の専門家が集まっており、いろいろな立場・考え方から意見交換を行います。意見がまとまらない時もあるけれど、幅広い意見があるからこそ、教員どうしの議論は良識的なところへまとまていく。そんなところが教育学部のすごいところなのだと思います！

学部長の経験した貴重な出来事を教えてください。

鶴原先生：「バルセロナオリンピックって知っていますか？君たちは生まれてる？」

なんと、1992年バルセロナオリンピックの際、鶴原先生はヨット競技の選手のサポートで同行されたと言います。（ちなみに2年生の岡本は1997年生まれ。）

岡本・東：「へええ〜（驚）」鶴原先生「いろんな経験をさせていただきましたよ。もう25〜6年前のことですね。懐かしいです。」

専門がスポーツ心理学である先生はメンタルトレーニングを担当、試合で最高のパフォーマンスが発揮できるようサポートされました。まさに武勇伝！

そしてもうひとつ、新婚旅行でアメリカへ行かれた時のお話。当時、先生は初めての海外旅行。ニューヨークから入って、シカゴやトロントに行き、ロサンゼルスから出るという計画。

ツアーではなく個人旅行です。飛行機には多くの日本人がいたというのに、入国審査が終わって降りてみると、そこには全く日本人がいまません！！

「どうやってホテルに行こう!?と。（笑）」

それでもなんとか、できない英語を使って…「つくづく考えると一緒に観光する予定だった兄のいる方へ行けば迎えに来てもらったのに、そういう計画を立てなかった！大失敗。30〜40年前のことです。武勇伝というか、思い出

に残っていることですね。」

その後、やっとの思いでホテルにたどり着いたんだとか。体当たりのアメリカ旅行、やってみたいような気も…う〜ん大変そう！（笑）

学部のお宝を教えてください。



中庭の鯉



ミネルパの鼻

中国では、哺乳瓶を使って鯉にエサを与える楽しみ方があるんだそう。テレビでそれを知った先生は…

「僕が哺乳瓶をもらってきて、やろうとしたんですが、なかなか難しい。根気が必要なんですよ。あんまりやっていると『学部長いつもあそこにいる』と言われちゃうのね（笑）なかなか。でも、ぜひ挑戦してみたいですね！！」

教育学部に新たな名物が増えちゃうんでしょうか。中庭で鯉に哺乳瓶で餌やりしている男性がいたら、教育学部長かも？！（文：東）

教育学部 DATA

課程：学校教育教員養成課程
教員数：81名
学部定員 800名、大学院定員 82名

生物資源学部

大学院生物資源学研究科長・生物資源学部長 梅川 逸人 先生

他学部生が知らないであろう学部の自慢できるところを教えてください。

まず、生物資源学部は、今からちょうど30年前に当時の農学部と水産学部が合併して誕生しました。この農学部のさらに前身として三重高等農学校というものもあって。これは戦前、全国で10コの専門学校ができた中の4番目としてできました。



また、教員が地方国立大学の中では非常に多いです。「山の頂から海の底まで教育・研究します」というキャッチフレーズなので、本当に色んなことをやっている人が居ます。

歴史がある、大きな、つてのは特徴の1つでしょう。…他に何かあるかな。何か、生物資源見て、違うな、って思うことありますか？

東：「生物資源の学生さん達は…皆農場行って、とか言ってる…」そうそう、フィールドがあるんですよ。フィールドサイエンスセンターっていう附属施設。去年1つ新しく出来たので、5つあります。農場、演習林は津に、志摩の離れ小島に水産実験所、松阪港に練習船勢丸丸ってのがある。86の国立大学の中で、練習船を持ってる大学ってのは7大学しかないですよ。最後に去年の12月に出来た鯨類研究センター。鯨・イルカを研究している附属施設があるのは、日本で唯一です。これは三重大内にありますよ。農場では、酒米とか、柑橘とか作って、ジャムとか豆腐作ったり。演習林では生物学的な森林の生態っていうか、そういうことを研究してる。あ、演習林はですね、今から3年くらい前かな…WOOD JOBって映画の撮影をやりました。エキストラでもだいぶ出演したり。

学部長の経験した貴重な出来事を教えてください。

若い頃に留学をしまして。学生時代の話ではないんですけど

ど、家族で行って…子供が5才と3才くらいだったかな？それで夏休みに、折角来たし、旅行じゃ行けない様なところに行こうと思って、アメリカを車で1周しました。

3人：「え!?!」

僕が居たのは、ミシシッピ州。12日くらいで、6400マイル、約1万と200数十キロ。だから、1日1000キロくらい走ったな。普通1万キロって、普通の人で1年間で走る距離ですよ。そう、イエローストーンって、知らない?アメリカで一番古いナショナルパーク。そこに行きたかったんですよ。水牛とか、ヌーとかペリカンとか、いっぱい野生動物が居るところで。まあうちの子供は大迷惑だったか分かりませんが…なんのこっちゃ分からんし。…でも面白かったですね。

他に、ナイアガラの滝に行つて。カナダ側の滝が綺麗だって言うから、カナダに渡ろうとしたんだけど…ビザの更新中で、入国の時にコピー出したらNOって言われて…帰れて言われて帰ってきました。1回入国の判子ばん！と押されたのに、×されて（笑）でも滝の下までは降りました。凄いやわぶ浴びてみたいな。カッパ着てね、エレベーターで下まで降りられるんですよ。ずっと子供供立っていた（笑）どうしてこんな目にあわなきゃいけないのかって。



現在の勢丸丸、進水式の際の斧と梅川先生

学部のお宝を教えてください。

宝!?すぐ思い付くのは…建物入ってすぐに勢丸丸ってあるでしょう。（棚から斧を取り出してきて）これは、下関造船所で進水式やったときの斧なんです。これで、船の綱を切るんですよ。私が貰った訳じゃなくて、何代も前の人が貰ったものだけど、学部のお宝はこれですかね。（文：岡本）



大勢丸（県立大・水産学部）模型



初代勢丸丸 模型



2代目勢丸丸 模型
（現在活躍中!）

これらの模型は生物資源学部入口にありますよ!

生物資源学部 DATA

学 科：資源循環学科・共生環境学科
生物圏生命化学科
海洋生物資源学科
教員数：110名
学部定員 1000名、大学院定員 212名

医学部

大学院医学系研究科長・医学部長 片山直之先生

他学部生が知らないであろう学部の自慢できることを教えてください。

三重大学の医学部には、私たちにも身近な、テレビに聞くと活躍された先生がいるそう！今回は2人のお名前を挙げて紹介して下さいました。

まずお1人目は竹村洋典先生。総合診療、家庭医療を専門分野とされている教授です。竹村先生は、実際に医療に関するテレビ番組に多数出演されているんです！例えば、「世界一受けたい授業」、また、「たけしのおんなの家庭の医学～名医のセカンドオピニオンSP」!!番組名を聞いたことがある方も多いいのではないのでしょうか？

お2人目は、今井寛先生。救命救急センター長をされている教授です。こちらの今井先生はなんと、映画「神様のカルテ」「神様のカルテ2」の医療監修をされたそうなんです！他にも100本近いテレビドラマ等に関わってこられたとのことですが、そんな先生が三重大にいらっしゃったことすら全く知らなかったので驚きました。



学部長の経験した貴重な出来事を教えてください。

この質問には、意外なことに「武勇伝はない」とのお答えが返ってきました。なぜかという、今回お話を伺った片山直之先生は、意識的にアクシデントを避けているのだそうです。何事も「フェア」で「普通」が一番だから、と仰る姿は、先生ご自身が今も「現役の医師」でいらっしゃることも関係があるのかなと思われて、とても興味深い気持ちになりました。

しかし、せっかくの機会なのでもう少しお話をお聞きしようとしてと外国での思い出を尋ねたところ、「学問を続けられることができた巡り合わせ」について話して下さいました。まず、

米国サウスカロライナ州チャールストンにある研究室に留学した日本人の15人以上がご自身と同じように教授になられたというお話。また、ある方からの誘いで始まった年1回の勉強会でのお仲間も、そのうち多数が教授になられたというお話など、自分の好きなことを研究仲間からの刺激を受けながら続けられたことがよかったですと仰っていました。

学部のお宝を教えてください。

三重大学の解剖学をやっている教授で成田正明先生という方がいます。こちらの成田先生、なんと「ターヘルアナトミア」を持っているそうなんです!!「ターヘルアナトミア」とは、江戸時代、杉田玄白らが「解体新書」を作った際に原本とされた書物。これの本物を先生は東京の古本屋で購入されたのだとか！まさかそんな所に歴史的に有名な「お宝」が眠っていたとは…！驚きです。現在「ターヘルアナトミア」は、三重大学医学部先端医科学教育研究棟1階人体模型展示室で常設展示されています。(2018年1月現在)興味のある方はぜひ、見学に行ってみてはどうでしょうか？

お忙しい中、私たちが関心をもちやすそうな面白いお話をいろいろ聞かせて下さった片山先生、ご協力本当にありがとうございました！



これがターヘルアナトミアです！すごい！

(文：東木場)

医学部 DATA

学 科：医学科・看護学科
 教員数：341名 ※医学部寄附講座の教員を除く
 学部定員 1090名、大学院定員 235名

工学部

大学院工学研究科長・工学部長 清水真先生

他学部生が知らないであろう学部の自慢できることを教えてください。

工学部は6つの学科からなります。また、三重大学に工学部が創設されたのは1969年のことで、今年で49年目を迎えるんです。(2018年現在) 来年で50周年ですね！

そして工学部のすごいところといえば、なんと学生の半分以上が大学院に進学するそうです！なぜかという、工学部を卒業された先輩方が就職する企業では、院での研究が重要視されることが多いから。4年生での1年間だけでなく、院での2年も含めた合計3年間の研究の経験は、社会に出てからも役に立つといえます。

また、それらの企業では海外で現地の方と一緒に仕事することももあるため、工学部では英語力も重視しています。海外先進大学との交流も充実しているそうですよ！

若いうちに味わってほしいと仰っていました。高い感受性を持つ今のうちにぜひ！と。



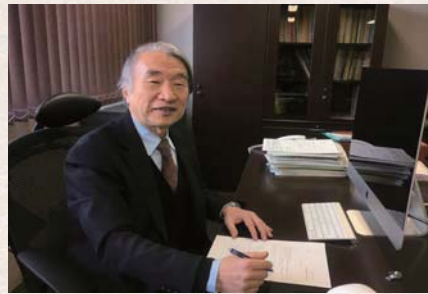
学部のお宝を教えてください。

工学部には実験のためのたくさんの装置があるそうで、いくつかが写真をお借りして載せて頂きました！本当に最先端の研究が行われていて、アポイントをとれば見学に行くこともできるそうです。興味のある方はぜひ！

また、「工学部にはいろんなすごい装置があるけれど、やっぱり学生さんが勉強している姿が一番のお宝かな」と仰って笑っていた姿が印象的でした。

工学部で学んでいるのは「社会に還元できる学問」です。わかりやすいところと言えば、建築学科の社会基盤となるまち作り。また、エネルギーや情報通信、先進物質なども工学部の研究分野です。清水先生はこれら一つ一つについて大変丁寧に解説して下さい、工学部の研究をとても誇りに思っているのが伝わってきました。たくさんのお話を聞いて本当にありがとうございました！

(文：東木場)



学部長の経験した貴重な出来事を教えてください。

清水先生は学生時代、2回留学に行かれていたといいます。1回目は大学3年生のときで、夏休みの2ヶ月を含む3ヶ月間、スウェーデンで過ごされたそうです。また、2回目は院1年生のとき。1年間イタリアに行かれていたそうで、洞穴の探検などもしたそうです。なんとそのときは2~3m落ちたとも仰っていました。よく考えるとすごく危ない…ご無事で本当によかったです。

しかし海外では危険な思いもあるそうで、数年前にはチェコでスリにあったとか…。普段ならちゃんと気を付けていらっしゃるのに、地下鉄で電車のボタンを押そうとカバンから手を離れた際に財布をとられてしまったということでした。皆さんも注意してくださいね！

それでも清水先生は、私たちにぜひ、海外の雰囲気

工学部 DATA

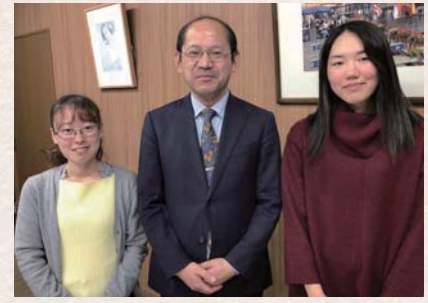
学 科：機械工学科・電気電子工学科・分子素材工学科
 建築学科・情報工学科・物理工学科
 教員数：106名
 学部定員 1660名、大学院定員 480名

人文学部

人文学部長 安食 和宏 先生

他学部生が知らないであろう学部の自慢できることを教えてください。

普通に言いますと、文化学科と法律経済学科の2学科がありまして、人文学と社会科学の広い分野が一通り勉強できます。うちは入学の段階では、学科を分けるだけでそれ以上細かいところは決めていないんです。まずは幅広く学んで下さい、ということですね。但し、大学というのは卒業論文もありますし、最終的には1つの分野をしっかりとりたい。そういうのが出来るようなカリキュラムというか、体制は、うちの特色、売りだと思っんです。あと何が凄いかって…凄いつて具体的にどういうことなんでしょう？



東:「え…忍者のことかやっってらっしゃる、とか。」
あぁ、忍者は最近アピールしてるんですけど、マスコミでも取り上げてくれるし(笑)。人文学部は2012年から伊賀地方との連携組織を作りまして、伊賀で研究やって、地域づくりをするということで、忍者が面白いんじゃないかって研究をやってきました。そういう実績があって、「国際忍者研究センター」というのを今年の7月に作ったんです。我々は三重県の三重大学ですから、地域の為になるということも大事だと思います。大学の研究と地域の活性化を結びつけて、なおかつ忍者ってのはマスコミにも受けが良いので…研究して、アピールしていけたらと思います。そう、今度大学院で「忍者・忍術学」という入試科目をつくったんですよ。これも、8月くらいにマスコミに出したらたくさん取り上げてくれました。…忍者を養成するとか書いた新聞は間違いなんです(笑)
それだけでなく、うちはアジアとかヨーロッパとかの国際的な視点もあります。三重県も大事なんですけど、留学行きたいって学生も沢山居ますしね。だから地域を大事にするのと、国際的な視点で頑張りたいというのが両方あるんですよ

ね。別に矛盾することではなく、地元貢献するのと、国際的にどんどん出て行って欲しい、というのを強調しておきます。

学部長の経験した貴重な出来事を教えてください。

私の専門がアジア・オセアニアの人文地理学なんです。普通あんまり行かない様な不便なところが昔から好きで、学生時代から日本の僻地というか、不便なところ、山の奥を回ってきました。だから、そんなに自慢にはならないけれど…道の悪いところ、砂利道を走るのには苦にならないです。ただ最近はずんずん…若い頃は夜通し走っても大丈夫だったんですけどね。疲れたら車で寝れば良いんだし。でももう流石にだめですね。

東南アジアのマングローブの森林もずっと歩いてきて、泥にまみれてやってきました。そう、私達のグループが…船に乗ってたらコブラに出くわしたとか言っていました。私は別行動でそこに居なかったんですけどね。熱帯の森はね、湿地林の変なところに入っていくと虫が結構いるんですよ(笑)。そういう森と人々の生活との関連を調べて。それは一つ面白い経験でした。これまで東南アジアでそんな無茶苦茶な目には遭ってないです。人口密度が高いので、割と何とかなるんです。皆さんも若い内に活動することをお勧めしますね。

学部のお宝を教えてください。

あるとしたら…日本文学の文献とか、あと考古学で発掘を色々やってる筈ですから、その関係のものもあるかもしれません。人文の先生が書いた本を集めて並べたらかなりの量あると思いますよ。お宝というか、図書館に行けばありますけど(笑)。忍者に関する本は、子供向けの本も含めて、山田先生がよく監修してますね。ブルガリア語に翻訳された忍者の本とかもありますよ。これらもまとめて取っておいたら後々お宝になるんじゃないかな。

(文:岡本)

人文学部 DATA

学 科 : 文化学科・法律経済学科
教員数 : 67 名
学部定員 1100 名、大学院定員 30 名

教養教育機構

三重大学 教養教育機構長 井口 靖 先生

他学部生が知らないであろう機構の自慢できることを教えてください。

現在の教養教育のカリキュラムは、2015年度に開始されたということです。このカリキュラムは、「共通」と「目的別」に分かれていて、「目的別」は、各学部・学科ごとの理念に沿って行われます。そして教養教育機構では、「共通」のTOEIC受験(4月)から始まり、英語の前期集中型カリキュラム、英語特別プログラム、また、スタートアップセミナーや教養ワークショップなどのアクティブ・ラーニングに力を入れているのです! 教養教育自体は他大学でも行われていますが、このようにカリキュラムがしっかりと体系化されているのはすごいことなのだと。さらに学生同士がお互いを評価する「ピア評価」を取り入れるなどアクティブ・ラーニングの二つは特にユニークで、学外からの注目度も高いそうです!

機構長の経験した貴重な出来事を教えてください。

上で述べたようなカリキュラムを整備するまでには、大変な苦労があったそうです。今回お話を伺った井口先生ご自身がその改革に携わって来られたということで、その経緯を「武勇伝」として語ってくださいました!

まず、現在の形ができる以前には、教養教育にはそれとしての明確な教育理念、即ち「何のために学ぶの

か?」などが無いという問題点がありました。そこで、2011年に当時の学長から新しい組織構築が提案されたのです。ここから実際にカリキュラムを開始するまでには、4年という月日がかかりました。長いように思われるかもしれませんが、教養教育についての考え方は人によってさまざまなので、初めにそれを説得する必要があります。そして各学部から教員に異動してもらい、現在の「教養教育機構」ができあがったのです!

機構のお宝を教えてください。

教養教育機構の先生方の多くはそれぞれ本来の自分の学部研究室を持っているため、「もの」としてのお宝は存在していないそうです。しかし、あえて言うならば「人と意欲!!」授業改善に向け、先生方によっていくつかの活動が行われているそうです。例えば、月例のFD研究会。これは100%の出席率を誇り、どうしても欠席する場合は後日録画されたビデオを見るという徹底ぶりです。井口先生は、「100%組織として、熱心に教育に取り組んでいる」と仰っていました!

私たちのためにここまで熱心に動いて下さっている先生方がいるというのは、とても有難いことだと改めて感じました。そして最後には、学生たちの頑張った証なのでこれもある意味お宝だという教養ワークショップの書評集も一緒にお写真を。今回の取材のためにパワーポイントも作って下さり、わかりやすくたくさんのお話を聞かせて頂きました。ご協力本当にありがとうございました!

(文:東木場)



教養教育機構 DATA

教員数 : 17 人
設立年 : 2014 年

地域イノベーション学研究所

地域イノベーション学研究所長 三宅 秀人 先生

他学部生が知らないであろう研究科の自慢できるところを教えてください。

地域イノベーション学研究所(以下「地域イノベ」と表記)は学部がなく、大学院のみ。三重大学のなかで最も新しく、建物内も綺麗です。三宅先生を含み工学部から2名、生物資源学部から2名、新しい計画を練る際のプロジェクト・マネジメントの先生が2名。計6名の専任教員と、ほかの学部との兼任の教員を合わせて10名以上のメンバーがいます。活発で有名な先生ぞろいなんです。藤田達生先生(兼任)は昨年まで教育学部の学部長。プロジェクト・マネジメント教員の西村訓弘先生は現・副学長と、超豪華。また、博士学生の7~8割を社会人が占めており、なかには企業の社長さんも。そういった方々は地域で行われる講習などで興味を持ち、学びにいこうというようです。トマト農園で地域農業に携わる社長さん。世界的に優れたビールをつくった社長さん。「おにぎりせんべい」で知られる会社の社長さん、などなど…地域イノベは、各方面で活躍されている方々の集まりなんです。

研究科長の経験した貴重な出来事を教えてください。

研究科長として多忙な三宅先生ですが、ご自身の研究にも情熱を燃やしているんだそう。今進んでいるのがEUとの共同研究。取材人が後にウェブを覗いたところ、「日本側:三宅秀人」の文字がそして、今年スタートした文部科学省のプロジェクト「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」。予算はなんと、約7億円!三重大学のなかでは非常に大きなプロジェクトです。また、日本中の大学がチームを組んで新学術領域の研究費に応募したものが採択されていて、三重大学を含むチーム全体で5年で15億円の研究資金を得ました。三重大学もそのなかの1億円で研究をしています。三宅先生「『三宅先生…お金だけですか』と言われちゃうと困るんですけどね(笑)『最も研究資金を稼いでいる研究科長だ!』というのが、私の武勇伝のひとつかもしれないですね。」

また、これもすごいなと思ったのが…「最優秀知財の『発明賞』という特許を、今年と2年前の2回、もらっているのも私だけでしょう。特許でも、大学には貢献しているというのは少し武勇



伝かもしれないですね。研究科のお室を教えてください。

地域イノベの新しい建物自体、学生にとっては魅力的ですよ。そして、ここからが本当のお室の話で、なにやら最近得た宝があるのだから。

元教育学部長・藤田先生は歴史関係の専門。明智光秀がなぜ本能寺を討ったのかという話の古文書を見つけれました。お話を聞いた三宅先生は「非常におもしろかった」そうです。藤田先生自身が、我々の研究科のお宝ですね。あと、人文学部で環境についてやっている朴恵淑先生もメンバーです。この研究科にいれば彼女から四日市問題のお話を聞けます。人こそ大きなお宝なんです!地域イノベでは毎月一回、様々な分野の先生に30分~1時間、話していただいて、自由に質問ができる機会を設けているそうですよ。

余談ですが…

地域イノベには大学全体の期待がかかっているという印象を受けました。これについて先生は「研究というのは100%うまくいくとは言えないものなんです。もちろん最大限努力はしています。ですがこれだけの大金を頂いて、『うまくいきませんでした』というのは心苦しいですからプレッシャーはあります。頑張るしかないですね!』と語っておられました。

すごい先生たちが集う地域イノベ。たくさんの方を紹介された後、「私もすごいんですよ。すごい先生の紹介に私も加えてください」と言う三宅先生。いや、本当にすごい方なんです!しかしながら、お茶目な自己主張に思わず笑ってしまった私たちでした。そして、写真をとる際は「見栄え重視で!」とのことでした!



(文:東)

地域イノベーション学研究所 DATA

専 攻: 地域イノベーション学専攻
教員数: 8名
大学院定員: 40名



学部長インタビューを 終えて IN 四喜折々

天の声が、学部長インタビューに行ったアリエッティー、ガッシー、コバちゃんに感想を聞いてみました!



天の声: 今回、この広報紙作成にあたって学部長インタビューに行ってもらったけど、どうだった?
ガッシー: 学部長ってなにしてるか全然分からなかったよね~

アリエッティー: 自分の学部以外は見たこともなかった!でも思ったよりフレンドリーでびっくりした!

ガッシー: 私は地域イノベーション学研究所にインタビューに行ったんだけど、学生のほとんどが社会人で、社長さんもたくさんいるんだって~!なんか大学って感じだよ(笑)

コバちゃん: ほんとにね(笑)ドラマみたい!大学はクラスがないし、友達ともずっと一緒にいる感じがいいから、自分の時間がたくさんあるよね~

コバちゃん: 今回、初めてお会いする学部長さんがほとんどだったけど、私たちがインタビューするにあたってPPTとかレジュメ準備してくれてすごく嬉しかった!

アリエッティー: 工学部の学部長さんめっちゃ慣れた感じだった?(笑)

コバちゃん: それ分かる(笑)

ガッシー: 学部の紹介してもらった時なんか堅苦しかったけど、学部長個人の武勇伝を聞いたらめっちゃ面白くて緊張ほぐれた!

アリエッティー: 教育学部の時に聞いた鯉の話いいよね!

天の声: え、恋? LOVEの方??

ガッシー: 違うよ、魚の鯉!まさに鯉バチwww

天の声: なるほど、そっちね(笑)他の学部棟に入る機会もなかなかないから色々発見があったよね~

天の声: 今回のインタビューを通して思ったことはある?
ガッシー: なんか、偉い人とお話することに免疫がついた気がする(笑)

コバちゃん: それはすごい!私は緊張しちゃったよね~

ガッシー: これから目上の人とお話する機会も増えると思うし、今回はいい経験になったな。あと、すごく学生思いで嬉しかった!

天の声: アリエッティーはどうだった?

アリエッティー: やっぱ普段なかなか話せない方と直接話したり、教授自身の経験をお聞きできたのが楽しかった!

天の声: 個人的なお話はなかなか聞けないもんね~コバちゃんは一?

コバちゃん: 学部長さんのそれぞれの学部愛が伝わって、三重大に来てよかったと思った(笑)

天の声: そうだね!三重大の良さを再認識できたのは嬉しいよね~

アリエッティー: 今 三重大に通っている人も、三重大に興味を持っている人も、ぜひ学部長インタビューを読んで色んな学部に興味をもてほしいな!

コバちゃん: うんうん!面白い情報もたくさんあるからね(笑)

天の声: たば受講するだけじゃなく、自分から進んで学んでいくと絶対 為になると思う!

ガッシー: 先生方に話しかけることを恐れなくてね(笑)自分のことを覚えてもらえたら嬉しいな!

天の声: 三重大最高~~~~!
全 員: いえーい!!!

今回、取材に協力してくださった先生方、本当にありがとうございました!



四喜折々(四喜折々)

三重県津市江戸橋 2-174
三重大学付属病院 新病棟 12F
<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/patient/facility/>



1. Blue Marine

2. スキンダイビングを主として活動しているサークルで、夏季には屋久島10日間の旅があります！

3. 63名(男:45女:18) 4. 1985年

5. 私の地元は海が近くないため、海が近くにある三重大に入ったら、海で活動するサークルに入ろうと思っていました。しかし、いきなりスキューバダイビングを始めるのは少し怖かったので、スキンダイビングのサークルに入ろうと思いました。また、新歓 BBQ で先輩方がとても気さくで楽しかったのでサークルに入る決め手となりました。

6. 夏休みには屋久島に10日間滞在し、スキンダイビングはもちろん屋久杉を見にいたり、ビーチバレーを楽しんだりします。また、冬季にも温泉旅行やセンターボード、時にはバスケットボールやフットサルなど楽しいイベントがたくさんあります。夏だけでなく1年を通して楽しめるサークルです！



代表さん情報

生物資源学部 3年 松田弥和
Twitter: @bluemarine

1. 極津 (女子大生よさこいサークル)

2. 三重県津市を中心に、全国各地のお祭りやイベントに参加したり、施設への慰問に行ったりしています。

3. 35人(女子のみ) 4. 2001年

5. 新歓で、先輩達が優しく迎えてくれたすごく楽しかったから。

6. 最高の仲間ができる! 最高に青春できる! 最高の思い出ができる! 小さい子供からおじいちゃんおばあちゃんまで、いろんな人と関わることが出来る!



代表さん情報

教育学部 3年 高見理紗
Twitter: @GOTTTSU_official

1. ヴァンパイア (三重大学献血推進サークル)

2. 学生など、若い世代に献血を広めることを目的として三重県内各地で献血の呼び込みをしています。

3. 約60名(男女比はおおよそ5:5)
※メンバーには三重大学の他、三重県立看護大学、鈴鹿医療科学大学の学生も含まれる

4. 2003年

5. もともと献血に興味があったことと、医療系の学部に進んだことがサークルに入ったきっかけです。献血に関する知識を増やしながら、学生同士や献血者さんとコミュニケーションをとったりボランティア活動に参加できたりするところが魅力的でした。

6. このサークルは、献血に興味がある人はもちろん、「他大学の人と交流したい」「何かボランティアをしてみたい」という人にもオススメです! 自分は献血できないという人も、ボランティア活動と一緒に献血を広めていきませんか?



代表さん情報

医学部看護学科 2年 池田
Twitter: みえっち (@cspcbdm) の DM

気になるサークル

1. サークル名は?
2. 活動内容は?
3. 現在のメンバー数は?
4. 結成年は?
5. 入部の決め手は?
6. アピールポイントは?

サークルの代表さんに

って、質問してみました!

1. 農らく

2. 農らくは主に亀山市にある加太での活動を中心にしており、そこで収穫できた農産物を、津市にあるファーマーズマーケット朝津味に販売して利益を得ています。加太では、その地域の農業協同組合の方の畑を借りて野菜を育てているので、畑で会ったらアドバイスを貰うなど、力を貸して頂いています。

3. 現在のメンバーは、男性19人、女性21人程度で活動しています。

4. 2012年4月に畑の開墾が、農業をできる程度まで終わり、結成されました。

5. もともと農業に興味があり、新歓のチラシを見て説明会に来てみた時に、少人数なところや、弾けたサークルではなくちゃんと農業を中心としているところ、サークルの雰囲気が好きで、是非の中に入りたいと思い、入部しました。

6. 農業をするのは辛いことが多いと思いますが、知っている仲間と和気藹々とやることで楽しさが生まれます。一人でやると辛いです。天気の状態や害虫、害獣に振り回されることは多々ありますが、それをみんなで試行錯誤しながら乗り越え、その先でちゃんと育ってくれること、それが収穫できた時にみんなで美味しいと食べられる時間がすごくいいです。

代表さん情報

生物資源学部 3年 角田唯奈
連絡先: mieuniv.nogyo@gmail.com



1. 三重大学 IITF テコンドーサークル

2. 柔軟体操や蹴りのフォームなどの基礎練習をした後に、テコンドーの根幹を成す型や組手の練習をします。

3. 11人 男女比 6:4

4. 2017年11月結成! 出来たてです!

5. 中学サッカー、高校陸上と来たので、大学ではもっと異なる分野のスポーツをしたいと思い、武道をやることにしました。そこで大学から始める人が多いテコンドーを選びました。

6. テコンドーは大学や社会人から始める人が多い武道なので、武道初心者でも安心です。また、会員専用ホームページで五段の師範による指導動画を配信しているので自主練へのサポートもバッチリです。さらに、愛知大学などの他大学との交流の機会もたくさん設けています。

代表さん情報

生物資源学部 2年 小澤拓未
Twitter: @mieun_ift

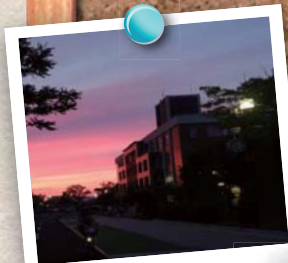


三重大 フォトスポット

三重大周辺には
フォトジェニックなスポットが
いっぱい!!



生物資源科学部前の桜



教育学部前の夕日



天文サークル代表・古川利維久さん撮影

満天の星空 青山高原にて



自然いっぱい三重大で、
のんびりキャンパスライフ



教養教育棟2号館横



町屋海岸の朝

町屋海岸の夜
(提供:古川利維久さん)



MIU 編集メンバー

- 岡本 怜奈
- 高田 紗由美
- 東木場 優妃
- 東 希穂

Special Thanks

竹中真菜さん (表紙の絵を担当)
協力してくださったサークルの皆さん

出版年 2018年